

議会だより

ちょうちん
浅貝地内 提灯岩

もくじ

令和3年度決算……………	P 2	一般質問……………	P 12
決算審査特別委員会……………	P 4	閉会中の常任委員会……………	P 22
監査委員報告……………	P 6	議員全員協議会……………	P 24
開会中の常任委員会……………	P 10	管外視察研修報告……………	P 26



9月定例会web



町議会web

9月定例会は「決算議会」ともいわれています。前年度の決算について審査し、認定しました。一般会計については以下の通りです。

令和3年度

決算

議会がチェック!
町の家計簿

歳入（町に入ったお金） 92億939万円

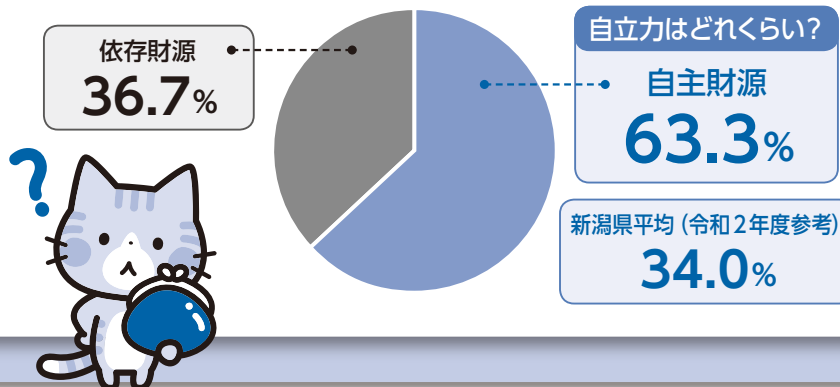
自主財源	町 税	町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税	34億6,732万円
	繰 越 金	前年度決算の剰余金として繰越されたもの	8億7,026万円
	寄 附 金	一般寄附、ふるさと納税	6億3,919万円
	諸 収 入	貸付金元利収入、雑入など	1億7,527万円
	財 産 収 入	町有地などの貸付収入、基金利子、配当収入など	8,287万円
	そ の 他	分担金・負担金、使用料・手数料、繰入金	5億9,319万円
依存財源	国庫支出金	国からの負担金、補助金、委託金	9億9,079万円
	県 支 出 金	県からの負担金、補助金、委託金	6億5,336万円
	地方交付税	普通交付税、特別交付税	6億4,773万円
	町 債	建設事業等の財源としての借入金	5億6,850万円
	地方消費税交付金	地方消費税のうち市町村分	2億2,221万円
	地方譲与税	国税として徴収し一定基準に基づき譲与されるもの	5,890万円
	そ の 他	各種交付金	2億3,980万円

歳出（町が使ったお金） 83億248万円

総 務 費	全般的な事務や政策、財産管理、選挙、徴税など	19億8,783万円
土 木 費	道路、河川、公園などの整備と維持管理、除排雪など	19億 299万円
民 生 費	障がい者や高齢者の福祉、子育て支援など	13億3,700万円
衛 生 費	ごみ処理などの環境衛生、疾病予防、健康増進など	9億2,786万円
教 育 費	学校教育、生涯学習など	4億3,979万円
商 工 費	商工業、観光振興など	4億3,706万円
消 防 費	消防や救急、災害対策など	4億 362万円
公 債 費	地方債の元利償還金	3億7,949万円
農林水産業費	農林水産業の振興、有害鳥獣対策など	3億4,133万円
そ の 他	議会費、労働費、災害復旧費など	1億4,551万円

自主財源比率とは

地方税、使用料および手数料など、地方公共団体が自主的に収入とすることができる財源の比率で、行政活動の自主性と安定性の尺度ともいわれます。



令和3年度 特徴的な支出



ロープウェイ施設管理費
1億7,424万円



湯沢こころのふるさと基金事業（ふるさと納税）
8億9,361万円



MaaS実証運行事業
（MaaSとは、バスやタクシーなど複数の交通手段を一つのサービスとして提供することで、利便性を向上させるものです。）
1,154万円



障がい者自立支援事業
1億4,383万円

（認証店で21時まで営業する場合） 記入例
当店をご利用のお客様へのお知らせ

営業時間短縮

と酒類提供について
新潟県の要請に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
下記のとおり営業時間を短縮させていただきます。

通常の開店時刻 11 時 30 分 ~ 通常の閉店時刻 22 時 00 分

実施期間
1月21日(金)~2月13日(日)

実施期間中の営業時間

開店 11 時 30 分 ~ 閉店 21 時 00 分

※酒類の提供は 20 時 00 分 まで

なお、〇/〇、〇/〇 は休業します。

お客さまにおかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

店舗名 (責任者：)
所在地 湯沢町

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金
1億3,157万円



旧湯沢小学校 校舎解体
2億4,591万円



除雪対策費（道路関係）
5億694万円

令和3年度

決算審査 特別委員会

9月13日～15日



特別委員会委員長
佐藤 守正

特別委員会 審査結果

● 一般会計決算 ……………

全員多数で認定

● 国民健康保険特別会計決算 ……………

全員賛成で認定

● 後期高齢者医療特別会計決算 ……………

全員賛成で認定

● 介護保険特別会計決算 ……………

全員賛成で認定

● 下水道特別会計決算 ……………

全員賛成で認定

● 水道事業会計決算 ……………

全員賛成で認定

● 病院事業会計決算 ……………

全員賛成で認定

担当の部署から決算について報告を聞き、質問をしました。その中から主な質疑を報告します。

総務部

Q Maasの来年度以降の予定はあるのか。

A 予定はない。Maasの運行実験の結果を受けて、令和4年度に地域公共交通活性化協議会を立ち上げ

たところだ。

Q ALLYOUTH会議の要望を町長がすぐに予算化するので、そのポジションが住民に誤解されているように感じるがどうか。

A 事務事業評価では町長の諮問機関のように思われているとの指摘もあったことから、誤解が生じないようにしたい。

Q 地域おこし協力隊員と何らかの交流の機会は設けられないか。

A 考えたい。その際は議員の方々も、ぜひ参加していただきたい。

子育て教育部

Q 雪国館の目的は文化振興であるが、現在の指定管理者の観光まちづくり機構は観光の組織であり、目的にそぐわないのではないか。

A 来年度が指定管理者の更新なので、ご意見は考慮したい。

Q 給付型奨学金は検討しているか。総合戦略にも上がっており、検討している。

Q 童画展の審査員は高齢の方もおられ、雪のない時期の開催を考えるとどうか。

A 今年の作品の展示は感染症の影響で5月になったが、来年度もその辺りを検討している。

Q 中学校における部活動の地域移行の受け皿となる指導者はいるのか。

A 町内のスポーツ団体が協力的であり、段階的に移行していくことができる見込み。

Q 学園の図書室の一般利用が少ないが、湯沢町の図書館はあれでいいと思うか。

A 利用拡大を図るためには多くの図書とスペースが必要であり、学園では無理がある。公民館の図書室の

充実と、南魚沼市図書館の利用が現実的。

Q 給食調理の委託先はこの業者で、契約は何年か。

A 株式会社メフオスで5年契約。全国展開している会社だが、雇用されている調理員は湯沢町あるいは近隣の方。

地域整備部

Q 屋外広告物について、違反や問題は少ないか。

A 町は申請の受付がおもな仕事だが、危険などの問題が実際あれば何らかの対応はする。

Q 土樽自然公園に草が生えて荒れた箇所があるが、何とかならないか。

A 供用開始している部分は管理するが、それ以外のところまではできない。



土樽自然公園

Q 都市計画施設改良費の委託料の不要額2,000万円は何か。

A JRに委託した湯沢駅東口エレベーターの設計業務が大幅減となったため。

下水道特別会計

Q 使用量の不能欠損の件数と理由は。

A 会社1件で、破産である。

Q 使用料の収入未済額は118件とのことだが、もっとも多額なのはいくらか。

A 大口が1件あり、それが収入未済額の77%を占めている。

Q その大口1件からは、毎年少しずつでも収入はあるのか。

A 破産しており、収入はない。

税務町民部

Q 令和2年度や3年度に比べて、令和元年度の不能欠損額が多額であった理由は。

A それまで処理していなかった時効分を令和元年度に処理したため。

Q ひとり親家庭等医療費助成の助成世帯数は。

A 51世帯。

国民健康保険特別会計

Q 傷病手当金について説明を。

A 国保加入者が新型コロナウイルス

ス感染症への感染や感染の疑いで仕事ができず、給与等の全部または一部の支払いを受けられなくなった場合に給付するもの。令和3年度実績は4人。

産業観光部

Q フィッシングパーク使用料は免除、蓬ヒユッテ貸付料は例年通りとなっているが、この取り扱いの違いはなぜか。

A フィッシングパークは使用料の免除規定に基づき免除したものであり、蓬ヒユッテは賃貸借契約に基づき料金をいただいたもの。

Q 宿場の湯の源泉ポンプ故障の詳細説明を。

A 源泉ポンプは10年程度使えるものだが、今回は8年で壊れた。交換までの1週間に配管のどこかが凍結したと思われる、春まで長期休業せざるを得なかった。

Q スキー客の入り込み150万人に比較して、湯沢割の1万6,000枚は少ないと思うが効果はあったのか。

A 先行した県の鬼割を補完する形で湯沢割を発行したが、3月の誘客に役立ったと思われる。

Q 「ありがとう湯沢」などのさま

ざまな商品券を統一して効率化できないか。

A 印刷代などが高コストのため、地域通貨を導入することも考えたが、ランニングコストがかかる。そのコストに見合う効果があるかどうかだと考えている。

Q 共同浴場の指定管理料の身について説明を。次回の指定管理者の選定はこれまで通り5浴場をまとめたか、それとも浴場ごとか。

A 共同浴場全体の約1億円のうち、主なものは人件費2,700万円、燃料費2,100万円、光熱水費2,600万円。

次回の指定管理者選定については5浴場まとめでの予定。



街道の湯

Q 松の木坂霊園のトイレ清掃の委託先と金額は。

A シルバー人材センターで、霊園3か所で9万3,308円。

健康福祉部

Q 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等食糧支援の実績と、今後の見込みは。

A 事業開始が2月15日で、11世帯26人分であった。令和4年度はすでに相当数の支援をしており、増える見込み。

Q オミクロン対応ワクチン接種はいつからになるのか。

A 9月26日に3,700回分が届く予定だが、インフルエンザワクチン接種との兼ね合いもあり、病院と協議しているところ。

Q 生活保護世帯が減少した理由はないか。

A 転出や死亡による減。

Q 人工透析患者交通費助成事業の申請者が17人だが、町で人工透析を受けている人は何人か。

A 20人。

Q 高齢者配食事業の実績が3,699食とのことだが、携わっている食生活改善推進員の高齢化や人手不足の声があるがどうか。

A 資格が必要な食生活改善推進員は54人で確かに高齢化もあるが、それ以外にボランティアの方にも2人参加いただいている。

令和3年度決算 監査委員報告

代表監査委員
野上新平議員選出監査委員
並木利彦

一般会計・特別会計

総括

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書は関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、予算の執行および関連する事務処理については、おおむね適正に行われているものと認められた。

基金の運用状況

審査に付された令和3年度の基金の運用状況を示す書類の計数は関係帳簿等と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

(1) 町税および各種料金等における事務事業の執行にあたっての意見

収入の確保

新型コロナウイルス感染症等の影響による景気低迷で、町税の調定および収入額が大きく落ち込んでいる一方で、徴収率は向上した。今後も適正な課税と徴収により必要な財源を確保し、住民の福祉の増進に努めてください。

(2) 歳入における滞納

令和3年度一般会計の収入未済額の99.06%は町税であった。町の安定した行政運営のために、引き続き滞納の解消に努めてください。

(3) 事務事業の見直しおよび適正な事務処理

今後、事業の拡充や新規事業のための財源の確保が困難になる懸念がある。将来にわたり持続可能な町であるために、今から既存事業の統廃合など、行財政をスリム化する見直しが必要と思われる。

また事業の実施にあたっては、効率的な予算の執行と法令を遵守した適正な事務処理を、職員全員に周知徹底してください。

(4) 町有施設の管理運営および維持管理

同規模の地方公共団体に比べて、多数ある公共施設の老朽化が進み、維持管理費が増大している。今後すべての施設を維持存続していくことは困難と考えられることから、個々の施設の収支状況と今後の必要経費を示し、早急に施設の統廃合や管理運営手法の見直しに取り組む必要があると思われる。

決算への意見等

一般会計

税収が年々減少し財政的には苦しいはずだが、国庫補助金や地方交付税、ふるさと納税などで歳入不足が補填されているため、実感が薄れて

いる状況である。財政の現状を直視し、臨時的収入を過度に当てにせず、堅実な財政運営を行う必要がある。

また、安定的に行政サービスを行うためには自主財源の確保が重要である。公平性の面からも、税や料金の確実な収入、適正な受益者負担を実現することが求められる。

国民健康保険特別会計

今後も徴収率の向上と未納額の削減により、納税者間の公平性を確保し、関係部署が連携して国保会計の健全運営に取り組んでください。

疾病の早期発見により重症化を予防し、医療費の抑制にもつながるよう、これからも事業の周知と受診率の向上に努めてください。

後期高齢者医療特別会計

国民健康保険税の滞納が解消されないまま後期高齢者となる事例があるようだが、保険証の更新時等に聞き取りを行うなど、滞納の解消に繋がるよう取り組んでください。

介護保険特別会計

被保険者間の公平性を確保するため、これからも徴収率の向上と未納額の削減に努めてください。

受けることができる体制が整備されるよう、施設の充実や人材の確保にも努めてください。

下水道特別会計

年々未納額の解消が図られ徴収率が向上しているが、引き続き滞納者への初期対応を徹底し、収入の確保に努めてください。

また、土樽松川浄化センターの湯沢浄化センターへの統合や、下水道事業の公営企業法適用など、複数年に渡る事業が円滑に実施できるよう計画的に取り組んでください。

企業会計

総括

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書および付属明細書は関係法令に準拠して作成されており、当事業年度の経営成績および当年度末現在の財務状態を適正に表示しているものと認められた。

審査意見

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う観光客の減少等により年間総有収水量が減少しており、給水収益の増加を見込むことが困難な状況で

ある。

今後施設の更新や修繕を計画的に行うとともに、新たな滞納が生じることがないよう使用料の徴収対策に取り組み、水道事業の健全な運営に努めてください。

病院事業会計

指定管理者との協定に基づき、前年度の経常損失分2,500万円を補填した。新型コロナウイルス感染症禍の影響による受診控え等で前年度は患者数が減少していたが、令和3年度は患者数が回復傾向にあった。引き続き安定した医療提供体制が確保されるよう、指定管理者と連携を密にし、病院運営にあたってください。



湯沢保健医療センター

7月臨時議会

7月6日



議案 一般会計補正予算(第4号)

主として、「がんばろう湯沢」商品券事業に係る経費を計上したものの。

賛成全員 ↓ 可決

議案 湯沢高原ロープウェイ減速機更新工事請負契約の締結

ロープウェイの安全な運行を確保するため実施するもの。

賛成全員 ↓ 可決

9月定例会

9月6日

同意 教育委員会委員の任命

教育委員である上村麻美氏の任期満了のため、再任名したく同意を求めるもの。

任期は令和4年10月1日から令和8年9月30日までの4年間。

賛成全員 ↓ 可決

議案 中央公園野球場照明設備改修工事請負契約の締結

老朽化の進んだ中央公園野球場照明設備の改修工事請負契約について、湯沢町議会の議決に付すべき契約および財産取得または処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

賛成全員 ↓ 可決



中央公園野球場照明

第4号 6,363万6,000円を追加	
賛成全員 → 可決	
歳入	
国庫支出金	地方創生臨時交付金 増 3,357万4,000円
繰越金	繰越金 増 ……………3,006万2,000円
歳出	
衛生費	岩の湯濾過機更新……………2,000万円
商工費	がんばろう湯沢商品券事業……………4,363万6,000円

令和
4年度一般会計補正予算審査
特別委員会

9月6日

委員長
高波大吾

第5号 2億1,558万9,000円を追加

賛成全員 → 可決すべき

主な歳入		主な歳出	
地方交付税	普通交付税 増 … 2,988万3,000円	民生費	新潟県後期高齢者医療広域連合負担金 増 …… 1,140万4,000円
			児童手当法改正対応システム改修 …… 140万8,000円
国庫支出金	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 …… 1,730万円	衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 …… 1,095万8,000円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金 増 1,273万1,000円		新型コロナウイルスワクチン接種 …… 1,730万円
	子ども・子育て支援整備交付金（新規分）減 …… △2,063万4,000円		可燃ごみ処理施設運営業務（南魚沼市）増 …… 1,429万5,000円
県支出金	子ども・子育て支援整備交付金（新規分）減 …… △515万8,000円	農林水産業費	修繕料 増 …… 200万円
	子ども・子育て支援施設整備交付金（創設分） …… 261万5,000円		湯沢町農業再生協議会補助金 増 …… 467万5,000円
繰入金	財政調整基金繰入金 減 …… △2億9,335万4,000円		森林所有者意向調査・基本計画策定 減 …… △273万円
		商工費	森林情報等精緻化 …… 550万円
繰越金	繰越金 増 … 4億4,998万5,000円		商店街エリア活性化事業支援 …… 100万円
	社会福祉施設整備事業債 減 …… △640万円		秋・冬季観光活性化対策事業 1億円
町債	臨時財政対策債 減 △2,278万5,000円	消防費	湯沢町観光まちづくり機構運営支援補助金 増 …… 500万円
			消防施設等整備費負担金（南魚沼市）減 …… △356万2,000円
		教育費	タブレット端末 増 …… 100万円
			雪国館改修工事詳細設計 …… 350万円
		災害復旧費	湯沢高原園路路面災害復旧工事 …… 300万円
			旧布場スキー場崩落箇所復旧工事 増 …… 2,000万円

説明要旨

継続費補正として、旧布場スキー場崩落箇所復旧事業（令和3年度～4年度）の令和4年度事業費を2,000万円増額し、継続費の総額を7,810万円とする。債務負担行為として、指定管理3件を追加する。

主として、秋・冬季観光活性化対策事業にかかる予算を計上したもの。

主な質疑

Q 町営墓地使用権利金還付金とは。

A 墓地の権利を取得してから5年以内に返還する場合に還付するもの。

Q 秋・冬季観光活性化対策事業の「YUZA割（宿泊）」は、インターネットの予約受付サイトでの予約のみが対象か。対応できない事業者が出てくるのでは。

A 予約受付サイト上の割引クーポンという形で配布する。運用経験のない事業者には、説明会で導入について丁寧に説明する。

Q 湯沢町観光まちづくり機構運営支援補助金はwebサイト改修の補助とのことだが、500万円の根拠は何か。仕様書はあるか。

A 秋・冬季観光活性化対策事業を行うにあたり、webからの情報発信が重要であると考え。サイト改修を行い、さらなる経済活性化につなげる狙い。500万円は概算であり、仕様などは後ほど示す。

Q 交通安全施設一般管理費の修繕料増額の具体的な箇所はどこか。

A 当初予算の必要額をすでに消化したため、今後の対応に備えての増額。

Q 雪国館改修工事詳細設計について、日本画ギャラリーや入口に展示されている絵画は移動するのか。

A 展示当時、アートプロデューサーから監修および展示品の提供を受けており、そのままとなる予定。

Q 湯沢町総合型地域スポーツクラブ運営費補助金の増額の内容は。

A 令和5年度からの中学生部活動地域移行に備えて、その指導者の確保に充てられる。

一般会計補正予算（第5号）修正動議

発議者 高橋 政喜

賛成者 並木 利彦

討X論

原案賛成討論

（一社）湯沢町観光まちづくり機構は立ち上げ前に「DMO」の収支を発表し、令和5年度までに自主財源を増やし、自立した組織にすると説明。今年度も湯沢町観光協会と同額の8,000万円が予算化され、事業展開された。

半年が経過のうちにWebサイトの強化として500万円の補正予算。議員の質問に対して明確な回答が得られず、自立した組織とはほど遠く、500万円の減額修正案の提出となる。

渡辺千恵
新型コロナウイルスの国の方針も大きく変わり、人々が自由に動きはじめると思われるため、秋・冬の観光の競争が激しくなると予想される。湯沢町も今回の観光に対する経済対策1億円を、他県・他市町村に負けずに遅れをとらないで成果を出すことが求められる。

湯沢町観光まちづくり機構は、一般社団法人として本来独立していかなければならないが、立ち上がりからすぐこの

採決結果

・修正案（Ⅱ提出された補正予算案から500万円減額）の採決

賛成

反対

賛成4

反対6

賛成7

反対3

賛成

反対

賛成7

反対3

・原案（Ⅱ提出された補正予算案）の採決

賛成

反対

賛成7

反対3

高波大吾・渡辺千恵・和田一郎・南雲好幸
並木利彦・宮田眞理子・白井孝雄

高橋政喜・田村計久・佐藤守正

反対3 ↓ 可決

く機関でもある。その湯沢町観光まちづくり機構のWebサイトのホームページでは課題が多く、勝負に臨むことができないとしたら、効率的かつスピーディーさが求められるので原案に賛成する。

原案賛成討論

高波大吾

今回の補正予算は秋冬の経済対策を多く盛り込んだものとなっており、スキーシーズンの予約の動きに対して町がスピード感を持って取り組むためにも早期の可決が必要である。

審査特別委員会でも可決すべきという採決が行われた結果があるので、これを重視する。

ただし個人的には修正動議が提出されるに至った過程においては共感できる部分もあり、今後の経済対策などの立案の際の参考としてほしい。

修正動議

修正動議賛成討論

並木利彦

・観光のWeb宣伝は基本。毎年8,000万円の補助金でなぜ改修してこなかったのか。

・Web運用はCMSが必要とされているので、町は700万円、湯沢温泉観光協会は1,300万円

でWebを改修した。500万で足りるのか。

・単協がWeb作成時は、半分は単協のお金で作成していた。湯沢温泉観光協会は850万円、町が850万の補助だった。

・秋季・冬季のイベント宣伝のためにWebが必要ということだったが、Web納期は令和5年3月31日だった。余裕があるのであれば、よく協議検討して再度申請していただきたい。

修正動議賛成討論

田村計久

補正予算審査特別委員会において、湯沢町観光まちづくり機構運営支援補助金500万円の説明があったが、質疑に対する答弁内容が不十分であった。特別委員会閉会后に補足資料が提出されたが、これでは質疑・議論ができないことになる。補足資料では、Webの改修作業は専門業者に委託するとあったが、「大枠の改修見積もりをなぜ出せないのか」「専門業者とはどこなのか」疑問が残る不明瞭なものであった。

湯沢町観光まちづくり機構Webサイトの更新は、法人の財源でまかなうのが妥当であり、独立した公益法人が行政の補助金にいつまでも頼るべきではないと考える。

また、行政としても予算づけの理由を明確にすべきであると考え、修正動議に賛成するものである。

開会中の常任委員会審査

9月6日

総務文教常任委員会

委員長 宮田眞理子

議案 湯沢町職員、育児休業等

に関する条例の一部改正の条例制定

例制定

育児休業等取得環境を整備するための「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に併せての条例改正。

Q 改正内容は湯沢町独自のものが。

A 法律の改正に伴うもので、独自の内容ではない。

賛成全員 ↓ 可決すべき

陳情 コロナ禍においても私立

高校生が学費の心配なく学び

続けられる、私学助成の増

額・拡充の意見書提出

私立高校と公立高校の生徒の世帯負担について、国の制度が拡充された後も学費格差が歴然。新型コロナによる経済的影響で生活が脅かされており、国研の学費補助制度の拡充、教育条件の格差是正、私立高校の専任教員の助成・増額を求める。

Q 私立高校を選ぶ動機は。

A 2割〜3割は部活動での活躍。

賛成全員 ↓ 採択すべき

生活福祉常任委員会

委員長 高橋 政喜

議案 国民健康保険特別会計補正

歳入歳出それぞれ945万円を追加し、総額を11億7,049万8,000とする。

歳入は県支出金、県補助金のシステム改修費として特別調整交付金を16万5,000円増額し、令和3年度からの繰越金が確定し2,458万5,000円増額に伴い、支払い準備基金繰入金を1,530万円減額。

歳出は総務管理費、委託料を国保情報データベースシステム改修に16万5,000円増額、基金積立金、支払い準備基金積立金928万5,000円増加、年度末残高見込1億1,338万5,000円となる。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 後期高齢者医療特別会計

補正

令和3年度の繰越金の確定に伴い実施するもので、歳入歳出予算の総額に224万2,000円を追加。歳入歳出予算の総額を1億1,793万1,000円とする。

歳入では繰越金224万2,000円増額、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金として224万2,000円増加。繰越金は、令和3年度の保険料で一定期間中に収入したもので、そのまま広域連合に納付。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 介護保険特別会計補正

歳入歳出を9億7,027万円とする。

歳入は繰越金の確定に伴い、繰越金を4,551万4,000円増額、介護給付費準備基金繰入金をすべて減額し、歳出の基金積立金を3,528万5,000円増額し、令和3年度の給付費や事業に対する国・県・町支払基金の負担額確定と、令和4年度の補助金内示により、追加交付額と返還額、一般会計の精算を計上。

歳出は総務管理費で、会計年度任用職員の8ヶ月分の人件費を計上、介護給付費準備基金を3,528万

5,000円増額する。

Q 保険金の入金予測と保険料の使途は。

A 残高は増で計画の間違いはなく、給付費も抑えられている。

賛成多数 ↓ 採択すべき

産業建設常任委員会

委員長 田村 計久

議案 共同浴場条例の一部改正

する条例の制定

入湯税条例の一部改正、入浴料金改正。

1回券大人800円・小人400円、会員1回大人500円・障がい者1回券300円に上限を定める。10回券、年間券は削除。

Q 回数券、年間券は廃止か。

A 料金の変更は、2年〜3年先になる。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 下水道特別会計補正

令和3年度決算確定による清算と三俣地区未接続地測量・設計。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議 員 表 決 結 果 報 告

令和4年9月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	高波大吾	渡辺千恵	和田一郎	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	白井孝雄
7月臨時会	町長提出 湯沢高原ロープウェイ減速機更新工事請負契約の締結	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度一般会計補正予算（第4号）	可	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
9月定例会	町長提出 教育委員会委員の任命	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町共同浴場条例の一部を改正する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中央公園野球場照明設備改修工事請負契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出 令和4年度一般会計補正予算（第5号）に対する修正動議	不	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×
	町長提出 令和4年度一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度下水道特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度一般会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	令和3年度国民健康保険特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度後期高齢者医療特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度介護保険特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度下水道特別会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度水道事業会計利益の処分及び決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和3年度病院事業会計決算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情 議会提出	「コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学び続けられるよう、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	可	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
	コロナ禍においても私立高校生が学費の心配なく学び続けられるよう、私学助成の増額・拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

Q 上越線三国踏切拡幅 町内要望は



&

A 今後も要望を続ける

たか はし まさ き
高 橋 政 喜 (文責)



三国踏切

質問

平成11年9月1日、近隣町内会より町議会に請願書が提出された。

請願理由は、県道神立湯沢線の道路幅員に合わせた改良、なによりも車同士の接触や歩行者と車の接触等による危険性の改善・改良を請願。結果は全員賛成で採択。

その後の対応と対策をうかがう。

答弁

この道は、小・中学校の通学路であり、また多くの車両が通行する。現在、歩行空間も満足に確保されない区間である。この踏切につ

いては毎年、県に要望しているが今後も要望を続ける。県もJRへの要望はしている。JRは立体交差が望ましい。

越後湯沢全国童画展の「童画」とは

質問

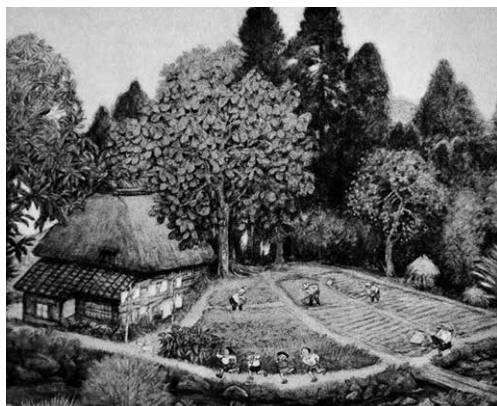
教育委員会HPでの「童画」の言葉は「児童画」と混同された側面もあるが、小川未明の「童話」や北原白秋・西條八十・野口雨

情らの「童謡」に対応して、確立された近代絵画の一部で純粋素朴の童心を基礎とした絵画性、文学性、詩情・物語性とが渾然一体の絵画である。しかし、このごろの越後湯沢全国童画展は芸術性が高まり、童画という言葉が理解に苦しむ。長野県岡谷市の日本童画館では、「童画」とは子どもたちでもわかる絵とか、子どもたちが描かれている、子どもたちも描かれるものと言われているが。

いとのこと。しかし、さまざまなことがあり難しいが、町は重点要望として今後も続ける。

答弁

童画展に出品された作品は、「姉ちゃんが嫁ぐ日のお見送り」「あまの声だ」など、純粋素朴な童心を基調にしたもので、童謡的な詩情性が多いと感じている。近年は幻想的なもの等もあるが、根底に童心であると思う。



古い童画

防災緊急ラジオ配布

質問

近年、異常気象という言葉をたびたび聞くようになった。湯沢町も地域防災計画があり、風水害・雪害・震災等が記載されている。

町民への伝達のため、全戸配布を目的に平成30年に防災緊急ラジオを3,000台購入したが、令和4年8月現在1,677台の在庫がある。広報等での周知やマンション内の掲示板での周知はできたのか。

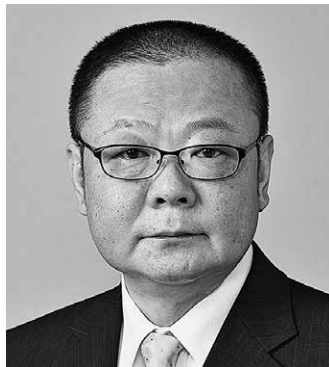
答弁

町内には町内会長会で周知の予定だったが、今回は新型コロナウイルス関係で会議は中止。町内には文章にて配布、商工会等にもお願いしている。

町内の方に一人でも多く配布されるよう努力している。



防災緊急ラジオ



Q よりきめ細やかな路線バス運行経路の設定はできないか

&

和田 一郎 (文責)



A

地域公共交通計画の策定を進め、地区によっては設定したサービス基準を見直すための新たな運行ルートや停留所の検討をしていく

空き家対策

質問

空き家対策については、昨年12月議会において質問し、見回り等をしながら、しっかりとした体制をとりたいとのことと答弁いただいたところであるが、その後の進捗状況はどうなっているか。

答弁

町が把握している、周囲に危険を及ぼす可能性のある家屋等については、引き続き担当職員が現場確認等を行っている。空き家でも所有者があり、適正管理する義務は所有者にあるので、状況を見ながら所有者に適正な管理等のお願いをしている。担当部局でも危険が町民や観光客に及ばないよう、空き家からの落雪による事故防止のため、町道を通行止めにするなど安全対策を行っていたり、雪庇等で通学の子どもや町民、さまざまな方に危険が及ぶ事柄については、例外的に雪庇落とし等の応急措置を行った。

路線バスの運行経路

質問

現在の路線バスの運行経路は国道を通るだけの設定となっている部分が多い。バス停まで距離があると歩いていくのが大変という高齢者もいると思うが、よりきめ細やかに、村の中まで入っていくような経路の設定はできないか。

答弁

今年度から、地域住民と観光客等来訪者双方にとって、より利便性の高い地域交通環境の整備を目指して、湯沢町地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、地域公

共交通計画の策定作業を進めている。

計画では町全体を地区ごとの状況に応じていくつかのエリアを設定し、エリアごとに運行本数や停留所までの距離などのサービス水準を設定する予定。年度内に地域公共交通計画が形となり、その後、その計画をもとに実際の運行を見直すこと

となるが、地区によっては設定したサービス基準を見直すための新たな運行ルートや停留所の検討をしていく。

質問

大島八木沢など、国道に出るまでかなり大変な部分が多いところがある。三俣も村の中をバスに走ってもらったほうがいいところがある。

答弁

15歳以上の町民と事業者の方それぞれにアンケート調査を実施する。アンケートのなかで多くの方の声を聞かせていただいて、計画に反映させていきたい。公共交通と福祉バスのこと、高齢化の状況なども踏まえて、計画ではしっかり対応していきたい。



路線バス

Q 冬を迎え、町内要望を優先した取り組みが不十分でないか



&

た むら かず ひさ
田 村 計 久 (文責)

A 今後とも担当課と万全を期す



昨年度、大雪時の西山通り

8月現在、町に対する町内要望は160件。消雪水量・パイプに関するものが54件、側溝など道路改良に関わるものが47件、除雪関係7件と住民生活に関わる案件が多いが、次についてうかがう。

質問 9月補正予算で消雪関係の町民要望に対する取り組みは不十分でないか。

答弁 これまでも消雪パイプ、井戸の改修に取り組んでいるが、冬を迎えるにあたり、今後とも担当課と万全を期し、町内要望に取り組む。町民利用の井戸の水量に不安がある。湯沢東地区の地下水量調査はできないか。

答弁 地下水の水量は心配される状況にあるので、担当と打ち合わせて検討してみたい。

質問 町長就任以来、町道の改良は手がついていない。住民の住みよい生活環境整備のために着手すべき。

答弁 必要であれば優先順位つけて取り組むが、財政状況もあり難しい。

質問 県道温泉線が今冬の悲劇を繰り返さないよう対策は十分か。

答弁 県には春以来、強く要望してきた。県も今冬に向け、井戸2本を掘削、水量確保に努めている。

雪国魚沼ゴールデンサイクルルート 湯沢町の取り組みは

質問 2市1町を結ぶ広域サイクルルートが、新潟県で初となるサイクルツーリズムの推進モデルルートに設定された。湯沢町の取り組み状況は。

答弁 わが町も自転車を生かした地域活性化に取り組みするため、看板やマップアプリの

設定などをアピールし、活性化につなげるために町内愛好者の声も聴き、今後の事業推進に生かしたい。



サイクルステーション看板

新型コロナウイルス後経済対策と 観光の町湯沢の再生、復活策は

質問 沈む観光経済。3月の所信表明にある対策と、コロナ終息後に向けた観光経済の復活政策に大きく期待するが、予算を含め動きが見えない。

答弁 今後の対策、計画を明確に答えていただきたい。

質問 沈む観光経済。3月の所信表明にある対策と、コロナ終息後に向けた観光経済の復活政策に大きく期待するが、予算を含め動きが見えない。

答弁 今後の観光対策は観光町づくり機構と話し合い、随時対策に取り組んでいく。



Q スケボーパークが欲しいという 声があるが、町としての考えは

& 渡 辺 千 恵 (文責)



A スケボー協会話を聞き、求められているものはど ういうものかを考え、できることを実現していきたい

質問 スケートボードはオリンピックの種目にもなり、スケボー人口も増えてきた。最近では親子で楽しむ姿も見受けられる。現在、子育てをしている世代はスケボー経験者が多いからではないかと考え、これはスノーボードと同じような現象なのかと思われる。



工事により使用不能になった高架下

旧ビル園横など提案してみただが、路面の状況などがスケボーに向かない点、また使っていない体育館などの話もだが、管理者の問題などもあり、なかなかいい場所が決まらなかった。
今後とも向きに、スケートボード協会の話を聞きながら考えていく。

答弁 町でも代替場所として旧ビル園横など提案してみただが、路面の状況などがスケボーに向かない点、また使っていない体育館などの話もだが、管理者の問題などもあり、なかなかいい場所が決まらなかった。
時代は変わってきているのではないかと。スケートボード人口が少ないからスケートボード場が必要なのではなく、やれる場所がないから増えないのではと考える。
使用していない体育館を利用するか、ゲートボール場の空いているところにコンクリを敷くとか、場所を作ることを考えてみては。

もの興味、関心、問題意識を大切に。探求型の授業を学校全体で考えてみる。子ども同士の対話、話し合いを重視した授業を心がける。



こんな本も出ています

質問 東成瀬村小学校は「学力日本一」の学校と言われ、さまざまな取り組みがされている。子どもたちの意欲的な学習態度にも関心させられた。
また学校、保護者、地域の方、行政とが同じ方向を向いて信念をもってやっている取り組みがすばしかった。湯沢学園でも取り組めることがあるのではないかと。
湯沢学園でも参考に取組みたいことは、1時間の中の授業の工夫。子どもの興味、関心、問題意識を大切に。探求型の授業を学校全体で考えてみる。子ども同士の対話、話し合いを重視した授業を心がける。

答弁 全職員、教育委員会も一体となり、今後とも保・小・中の一貫教育に力をつけていく。
質問 「町づくりは人づくりからであり、人づくりは教育が大事である」と考える。また、湯沢独自の教育を打ち出すことで移住定住にも繋がるのではないかと。力を入れべきではないか。
答弁 「町づくりは人づくりからであり、人づくりは教育が大事である」と考える。また、湯沢独自の教育を打ち出すことで移住定住にも繋がるのではないかと。力を入れべきではないか。

「町づくりは人づくりから、
人づくりは教育から」
湯沢学園の取り組みをもっと考えるべきでは

Q 湯沢学園学校運営協議会 議事録のホームページ公開は

なぐもよしゆき
南雲好幸(文責)



&

A ホームページには公開して こなかった



質問 ホームページ公開は平成24年、翌年4月会議の議事録の質疑応答は逐語形式の記載、これを最後に逐語形式の記載がない。

この現状は教育行政への町民参加意欲を削ぎ、意思決定根拠も分からず、町民の理解と信頼の醸成や町民の教育行政チェックができない状況。

A

検討し、改善したい

長弁 ホームページ上での会議の充実度はインターネット社会において、教育委員会にとっても必要なことではないか。

教育長 町民が気軽に会議の内容をホームページで見ることができるよう、情報量や記載の仕方について検討し、改善する。

Q

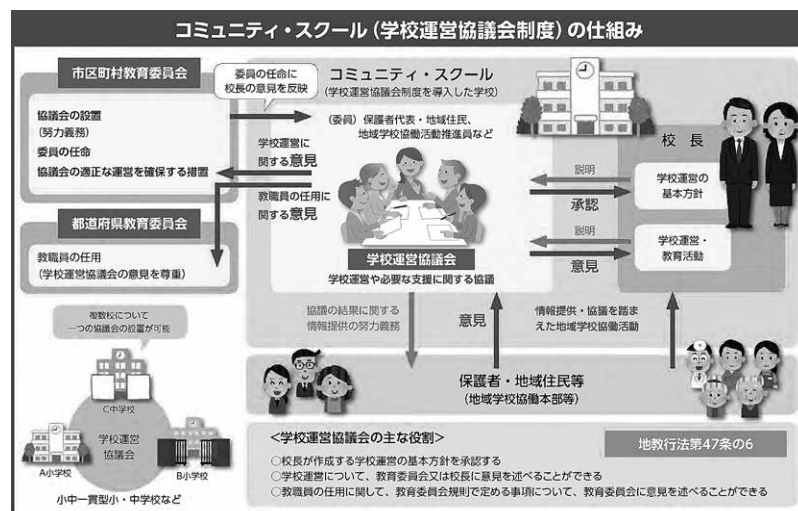
教育委員会議事録内容の
充実を

質問 コミュニティスクールとして家庭・地域・行政の協働、「地域住民の声を学校運営に活かす。地域と学校が目標を共有し、子どもの豊かな学びを創造する」とし、学校運営協議会は「家庭」「地域」からの声を反映させる仕組みのほず。【学校運営協議会規則】では、「会議録を学校のホームページへの掲載その他閲覧に供しなければなら

ない」とあるが、ホームページ上見つからない。子育て世代の情報源はインターネット。現状教育行政に関心を持てず、参加に必要な情報不足。

① 情報提供改善の促進
② 文科省のいう「熟議」の体制づくりについての意思は、

長弁 会議録のホームページへ公開を検討。「熟議」は行っているが、中身の充実を図るよう支援する。



長弁 湯沢学園を「湯沢町の将来を担う人材育成の場」として「創造」していけないか。

町長 学校運営協議会では、保護者代表・青少年育成指導員・ボランティア協議会・その他の団体の方々から委員になっていただき、さまざまな意見を反映し運営。「創造」については、これを目的に課題解決に向け会議を行い、情報公開を含め取り組みたい。

質問 「地域住民の声を活かす。…豊かな学びを創造する」目的に対し、その評価は。また、総合教育会議

での議論の結論が不明。発展的議論はどこで進めるのか。「創造」の議論の場は、総合教育会議・学校運営協議会ではないか。

A

意見を反映し、創造を目的に取り組み

Q

教育における「町民参加の町づくり」「創造」を目的とした議論を問う



Q 集合墓・合葬墓について うかがう



みや た ま り こ
宮 田 眞理子 (文責)

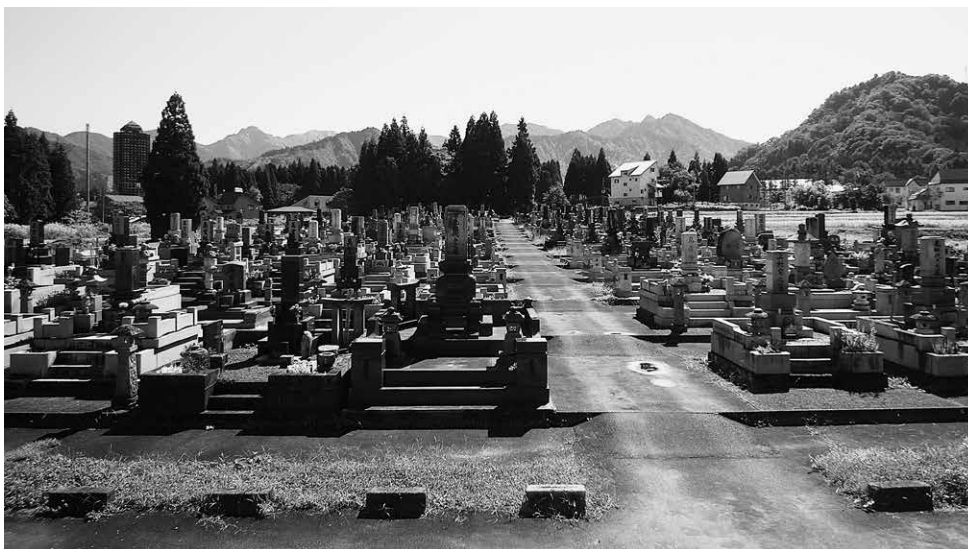
A 従来の慣習に配慮し 検討するように指示したい

質問

お墓の後を継ぐ人がなく、墓じまいなど後々のことを心配しているという声がある。テレビコマーシャルでも永代供養付きの樹木葬や集合墓地がみられる。町でも集合墓地を設置してもらいたいという声がある。現在、町営墓地で管理料が発生しているが、継ぐ人がなければ請求も難しくなってくる。集合墓・合葬墓について、どのように考えるか。

答弁

公設の霊園でも増えてきている。集合墓地の設置を望む声があることも承知している。3つの町有の墓地の空き区画も少なくなってきた



大野原霊園

ている。拡張についても担当課で検討を始めているところである。集合墓地の設置についても従来の慣習に充分配慮をしながら検討するように指示したい。

スケートボード パークのその後

質問

ストリートスポーツ委員会が行っていた、スケートボード教室のその後の活動について、町として把握していることは何か。また、それについて町長の見解はどうか。

答弁

委員会はアイテムを保管し、新たにスケートボードパークを設立するため署名活動によるニーズ調査を行い、協賛企業との交渉を行っている。町としては関心を持って見守っている。まずは場所を見つけてやりたい。

ゴミ袋の販売

質問

ゴミ袋は現在20枚入りでの販売である。町民の中から1枚売りでの販売にしてほしいとの要望があった。SDGSの観点からも、レジ袋と同様に1枚売りにして使

用できるようにしてはどうか。

答弁

ゴミ袋は南魚沼市に事務委託をしている。南魚沼市の担当課と情報共有して協議検討していきたい。テレビでそういった例を見た。他で行っていることだからできないことはないと思う。

東成瀬村の 教育を湯沢学園に

質問

東成瀬では小・中学校のうちに知識の基本をつけて、将来、自分の道を選択できる土台を作っている。しかし、東成瀬の小・中学校が、家庭に臨むことは「早起き朝ごはん」という。

答弁

授業の工夫として、目当て・関心を持ち、問題意識を大事にする。研修により学びあい高めあう職員集団作りをしていく。家庭に生活習慣の改善を求めるのは難しい場合がある。

Q 全ての職場に退職金制度の導入を



&

さとう もり まさ
佐藤 守 正 (文責)

A 選ばれる町、選ばれる事業所になるために必要なことだと思う



湯沢町商工会

質問

現在、町で企業活動をしている業者で、従業員の退職金制度を持っている業者はどれくらいあるか。

答弁

湯沢町商工会に加入している事業所で、中小企業退職金共済制度に加入している業者は13社、特定退職

金制度に加入している業者は11社だ。

質問

中小企業退職金共済制度（中退協）は、事業主が毎月一定の金額を納め、それが掛け金になる。したがって労働者の負担はない。

労働者が退職するときには、それまで貯まった積立金とその運用益、国からの補助をまとめて労働者に直接支給されるという制度だ。町内のすべての職場で働く労働者に、その仕事を引退するときに退職金が支払われるという環境を作るべく、町もそれなりの努力をしてもらいたい。

答弁

働き方改革の一環としても、ご指摘の環境が整うことが理想であると思う。しかし、掛け金は事業主のみの負担であることから、加入はあくまでも事業主の任意である。

当面は広報や町のウェブサイト、商工会等を通じて、町内の中小企業に退職金制度の周知を図っていく。

質問

新潟県にはまだないが、隣の長野県では39の自治体で、事業主が支払う掛け金の一部を援助するという形



で制度の普及を後押ししている。

湯沢町が新潟県のトップを切って、この制度への加入を町内の各事業所に働きかける、そういう動きをしてもらいたい。

答弁

中退協が働く人に対する有効性は認めるところである。

長野県でどのような形で支援が行なわれているのかをしっかりと調べて、町としてどのようなことができるのか考えていきたい。



Q 山岳観光の町として、登山口に至る林道の整備の予定はどうか

たか なみ だい ご
高 波 大 吾 (文責)



A 道路管理者が異なる。町道部分については整備を行っている

質問

子育て世代の支援や交流人口拡大につながる

答弁

全てを町で担うのは難しい。

重要だが。

質問

救急救命や安全管理上も、登山口までの舗装

は適宜修繕を行っている。

答弁

林道は森林を管理するための道路。碎石舗装もやむを得ない。壊れた部分は適宜修繕を行っている。

きでは。

あるのだから、関係各所にしっかりと働きかけをするべきでは。

質問

国立公園の入口でもあり、登山利用の需要があるのだから、関係各所にしっかりと働きかけをするべきでは。



碎石舗装になっている赤湯林道

答弁

自然が豊かな町なので屋外で遊ぶことも考え

質問

屋内施設の新規設置予定は。

きたい。

答弁

大型遊具の設置は厳しいが、今後も考えていきたい。

え方を取り入れてほしい。

質問

遊び場は学び場でもある。先進的な遊具の整備やバリアフリーの環境、インクルーシブ公園といった考え方を取り入れてほしい。

質問

費用対効果等に基づいて整備を検討する。

定は。

子どもたちの遊び場整備の予定は。



駅から歩いていける滝ノ沢公園

か。

遊び以外にも、動画撮影、チェアリング、ヨガやテントサウナなど、新しい活用もされている。町はどう対応するか。

質問

水遊びや釣り、バーベキューといった従来の

答弁

実益を生むことが重要。できるところはやっていきたい。

可能だ。

魚野川沿いであれば、自転車やスノーシューにも活用が可能だ。

川沿いに遊歩道を整備してみてもどうか。

質問

駅周辺は観光地でもある。

答弁

町の観光資源である、自然を活用した事業の支援を考えている。

質問

水辺の再整備のおもな

予定は。

してほしい。できることは検討していきたい。

質問

中学校の部活動を地域移行する際に、文化系の部への対応はどうか。

答弁

魚野川右岸の遊歩道整備や万年橋駐車場とトイレの整備ができています。

質問

中学校の部活動を地域移行する際に、文化系の部への対応はどうか。

答弁

まず運動部の地域移行を進めた後で、文化系の部活動の検討となる。指導者の確保が重要。

質問

町内の愛好家の方々と子どもたちの接点が少ない。継続的で質の高い文化芸術活動の機会の確保や持続的な環境整備として、その受け皿になるべく国が進めている地域文化倶楽部(仮)の取り組みについてどう考えるか。

答弁

町として、どういったことが良いのか考えていく。

質問

低速電動バスなどの新型モビリティ導入や、実証実験の予定はあるか。

答弁

策定中の地域公共交通計画において可能性を含めて協議する。

Q 湯沢町においての合宿宿泊の重要性



&

並木利彦(文責)

A 湯沢町観光の大きな市場と 考えている



質問

湯沢町
宿泊施

設において、合宿宿泊の重要性をどのように考えておられるのか。

町長が重要と考えているのであれば、抽選人数を把握し、少ないのであれば対策が必要だった。

大原スポーツ公園の夏季合宿に使用する市内の宿に對しては、使用料を後で返すこととしていた。

- ・新潟県スポーツ合宿促進事業補助金（4連泊以上で延べ宿泊日数が40泊以上）使用できる宿がなかった
- ・信濃町スポーツ合宿支援事業補助金



■合宿宿泊は湯沢町観光の大きな市場と
考えている。

新型コロナのため支援

はできなかった。

日本中の各自治体はこれだけの支援をしている。

要はやる気の問題。



■待ったなし！

日本企業を揺るがす「2025年の崖」

- ・長野県合宿開催支援金 宿泊日数 縛りなし
- ・山梨県スポーツ・文化合宿旅行支援金 宿泊日数 縛りなし
- ・500万人観光を目指す観光立湯沢町ならば、対策が必要であったのではないか。

質問

「ITの2025年の崖」に對するため、DX（デジタルトランスフォーメーション）が推進されている。湯沢町のIT事業者の企業誘致も重要。

総合計画の基本政策5の中で、「新たな時代に対応した、地域ぐるみのまちづくり」とある。湯沢町も湯沢町観光戦略のなかで「DXなどを意識した観光関連産業の生産性向

湯沢町の産業改革と ITの2025年の崖

土樽地区は夏の合宿宿泊売上と冬の宿泊売上が変わらない施設が相当数ある。街中のホテルは紅葉時期に稼ぐことができるが、土樽地区のメインは夏の合宿宿泊が大事な稼ぐ手段である。

なぜ各県が合宿誘致に動いた中、湯沢町は動かなかったのか。

答弁

湯沢町観光の大きな市場と考えている。新型コロナウイルスの感染拡大に

質問

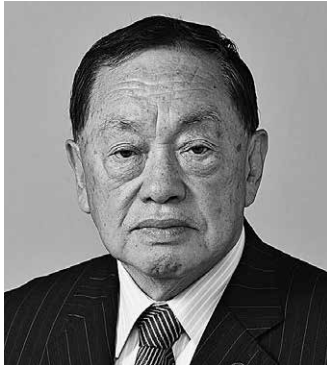
湯沢町の合宿宿泊は新型コロナウイルスの影響を受け、3年間合宿ができない状況は、学校の合宿に對しての認識が変わる可能性がある。湯沢に引き留めておく対策が必要である。どのように対処していかれるのか。

答弁

観光町づくり機構と検討していく。

答弁

上とあるが、具体的にどのように観光と結びつけていくのか。IT専門職を雇うのか。全国の自治体において、そのような職員を確保することは困難な状況となっている。国は地域情報化アドバイザーを派遣する制度や、DX等対策に関する財政措置を講じている。



Q 地方創生臨時交付金の有効活用と 取り残しのない経済対策を & 南 雲 正 (文責)



A これまで実施してきた事業に 充てることを検討している

質問

国は、物価高対策等に充てる地方創生臨時交付金を、低所得者への給付金上乗せや給食費の負担軽減、農林漁業者などの支援、さらに地方の実情に応じて効果的に活用できる仕組みを求めている。

物価高が進み、住民生活に支障が懸念される中で、観光産業だけではなく、農業資材の高騰による

農業経営への影響や、他産業への影響が心配されることから、地方創生臨時交付金を活用して取り残しのない対策を。

答弁

既存の事業に充てることを検討している。農業支援策は30a以上の農家に農業再生協議会を通して助成する。



稲刈り

質問

地域のニーズに合った事業の支援策は考えられないか。

また農業支援策は認定農業者の経営規模による支援が必要ではないか。

答弁

交付金を上回る事業を実施しているので、新規の掘り起こしは行わない。農業支援は30a以上の農業者を対象とする。

Q

全国学力、学習状況調査結果の公表と
湯沢学園の教育目標等の検証を

A

調査結果を公表することは考えていない
町の教育方針は継続し、検証はしない

質問

小中一貫教育として開校した湯沢学園が8年目を迎えた。コミュニティスクールとして、地域住民の声を学校運営に生かし、地域と学校が目標を共有し、子どもの豊かな学びを創造するという大目標がどのように実現されているか、検証を行う必要がある。今年4月に実施された全国学力調査の結果を早急に町民に公表して、地域とともに湯沢の子どもたちの学力向上に取り組むべきである。

学力日本一の秋田県東成瀬村の提言「小中一貫とか中高一貫とかの教育はハコモノを作って、その中に子どもを入れるだけではだめであり、頑張る子どもたちがいて、熱意のある教職員がいて、学校を理解してくれる保護者、行事に参加してくれる地域の人たち」



湯沢学園体育祭

答弁

湯沢学園によりで、結果概要を公表している。詳細についての公表は考えていない。町の教育方針も継続していきたいので検証は考えていない。

閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査は、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

総務文教常任委員会

8月12日

湯沢学園の現状と今後の取り組み

GIGAスクール構想のタブレット端末について、夏休み期間中の自宅に持ち帰っての使用とそのルールについて。

Q 家庭でのタブレット使用について同意が得られないケースに、WiFi環境がない以外の理由はあるか。

A ほかの自治体では、タブレットからの電磁波による身体への影響を問題視して同意しない例があると聞いたが、湯沢町ではWiFi環境がない以外の理由はない。

子育て支援センター・児童クラブ

施設整備の進捗状況について、鉄骨などの資材の納入遅れのため、完成予定が来年1月に延びる見込み。

起業型地域おこし協力隊の現状

と、きら星株式会社への委託事業の現状

起業型地域おこし協力隊員3名の活動状況等と、町がきら星株式会社に委託している事業内容について。

Q 特別交付税が財源となっているが、地域おこし協力隊の業務を外部委託することに問題はないか。

A 外部委託でも問題ないことを新潟県に確認済み。

生活福祉常任委員会

8月23日

町立湯沢病院の運営状況と窓口対応等

対応等

「収益と患者数の動向」「町からの財政支援等（経営健全化交付金）」「窓口対応等」について資料に基づき説明。

Q 夜間の看護師が少ないのではないか。

A 夜間の人数が2人体制なのか現時点では分からない。病院ではベッド数に応じた配置をしているものと思われる。

新型コロナウイルス感染症の現状と今後のワクチン接種

湯沢町内の感染者の状況は8月19日現在で累計866名。町民の新型コロナウイルス（4回目）接種状況は8月19日時点で個別接種705件、集団接種で766件となっている。

今後のワクチン接種については、オミクロン株対応ワクチン接種（5回目）を10月半ば以降に予定しているが、詳細は国の分科会で審議される。

Q 感染者の増加や発熱外来の増加に伴い、湯沢病院の医療体制に影響は出ていないか。

A 医療体制に影響は出ていないが、発熱外来は忙しそうである。抗原検査用のキットが不足しており、検査時間を要するPCR検査で行っているため大変になっていると思われる。

高齢者等移動手段の現状と課題

路線バス運賃助成は有効に活用されており、令和3年度の延利用者は8,310人。運転免許証自主返納支援事業の申請者に、運賃助成制

度の案内チラシを配布して周知している。福祉バスの利用者は減少傾向で、特に湯沢地区の利用者が少ない状況。

「ひきこもり」の現状と課題と対策

本人や家庭からの相談に応じるほか、民生委員や警察などから情報提供があり、必要に応じて訪問や受診勧奨など行う場合もある。事業は社会福祉協議会に委託している。

ネグレクト（障がい者・高齢者等虐待）の現状と課題

ケアマネジャーや医療機関、警察からの通報がほとんどで、連携できている。

高齢者や障がい者が安全に暮らしていくためには、介護や医療関係者との連携と、地域の見守りが重要となる。

産業建設常任委員会

8月25日

フジロックフェスティバル2022

主催者より、フジロックフェス

ティバル2022について、運営状況と今後の課題などについて説明を受ける。

観光業、観光施設、商工業の現況と対策

令和元年度比で、宿泊業の稼働率に関しては同年に匹敵するところがあつたが、減少するところもあり、売り上げにおいては総じて減少した。

地域おこし協力隊の就業状況

地域おこし協力隊の就業状況について、観光分野で2名、農林分野で9名、それぞれの勤務先、状況、取り組み担当について説明。

新ごみ処理施設の進捗状況およびごみ収集事業実績

8月9日、建設予定地3集落との協議会が開かれ、工程計画の説明が行われた。

令和12年の稼働を目標に、継続的に協議が行われる。

地域整備部建設課事業の進捗状況および県道改良事業

令和4年度事業の三俣地域振興対策、道路橋梁維持など事業は順調に進んでいる。県道関係の改良工事5案件の現況と完成までの工程、関連

工事の詳細説明。

Q 若い町民の方たちから主水公園の改修について意見書が提出されたが、すでに住民説明会ほか告知も行われ、近隣町内会の説明も済み、事業発注の時期になっていた。

手続きを踏み進めたなかで、この時期の提案となると、これまでの住民に対する告知に問題があつたのか、提案する側に問題があつたのか、どう考えるか。

A この時期にご提案をいただいたのは残念。手順を踏んできたが、告知方法などに問題があるか検討し、提案者には一連の流れの説明をした。

中央公園の今後の整備と課題

施設の老朽化対策については建設以来20年から40年が経過し、大規模修繕や更新が必要な施設が多く、湯沢町公園施設長寿命化計画、令和2年から令和11年度に基づき修繕を行う。

中央公園の利用者数等については、新型コロナウイルス感染症の影響で非常に厳しい状況。

地域整備部上下水道課事業の進捗状況

下水道事業、水道事業それぞれについて進捗状況等の説明。

議員全員協議会

※議員全員協議会は、議会の協議または意見調整、本会議審議に伴う協議または意見調整、執行部による事前説明および意見聴取の場として会議が開催されます。

7月19日 第6回

産業観光部

湯沢駅東口エリア商店街エリア活性化事業成果報告

東口側の賑わい創出の課題を解決するため、芝浦工業大学（佐藤教授）に学術研究を依頼。商店街ワークショップの開催や商店街の実態調査を実施。佐藤教授が説明。

社会的動向は、地方への関心が伸び、若い世代がテレワーク等で地方に向かつている。この人口を湯沢町は土樽エリアで受け止め、若年層が集積しているエリアは東口エリアと分かった。このような大きな流れの中で東口エリアの活性化を考えることが大事。この調査では、東口エリアの課題の整理、資源の発掘、遊休不動産（空き家、空き地）の現状把握を行い、地域の方々と目標の共有を図り、東口エリアを元気にするアイデア集を作成した。このアイデアは、地域の方々（38名）の声をまとめたものである。

・空き店舗の活用Ⅱ地元組織の充実がポイント

・蔵の活用

・店舗の空きスペースの活用

・交流拠点の整備

・街並み整備（景観・アーケード）

・親水空間の整備

・回遊性の向上（スポットづくり）

↓子どもたちとも連携

・コンテンツ×体験Ⅱ気軽さ（体験の場づくり）

・コンテンツ×イベントⅡ交流

・交通便利性の向上（環境に配慮した取り組み）

等、25のアイデアをまとめた。

これを形にし、東口を元気にするために、地元の人たちの体制作りが重要。現状は、地元有志数名（5名程度）で検討が始まっている。

遊休不動産の活用では、所有者への提案も始まり、体制作りと活性化への活動を並行して進めている。

その他

二市一町議会議員協議会追加要望

「衆議院議員小選挙区選出議員の

選挙区の改定案の再考について」
二市一町議会議員協議会長名で関
連省庁に提出決定報告。

8月12日 第7回

子育て教育部

雪国館改修計画

6月議会では、来年度のエレベーター改修工事にあわせ、収蔵庫の展示室化とバリアフリー化に向けた詳細設計の補正予算を上程したが、修正動議により関連予算を削除。このたびは、エレベーターの改修と管内のバリアフリー化のみを行う計画。9月定例会に補正予算を上程予定。

全国学力学習状況調査の結果

今年度の調査は、国語・算数・理科の3教科。6年生の正答率は国語68%、算数60%、理科62%。国語は全国と県を上回っているが、算数と理科は全国と県を下回る結果。9年生の正答率は国語70%、数学53%、理科53%。全ての教科が、全国と県を上回る結果。

NRT（標準学力検査）は、全国平均を50とし、自校の学力がそれに對して、どの程度高いか低いかを判断するもの。教科総合経年

変化では、小学校は令和2年度まで下降傾向であったが、令和3年度から上向きになってきている。中学校は逆に令和2年度をピークに下がってきている。学力向上は最重要課題であり、家庭の協力が必要。学校評議員会で、どのような説明・検討していくことが学力向上に繋がるかを考えていく。

部活動の地域移行

湯沢町部活動検討委員会を設置。令和5年度から休日の運動部活動を総合型地域スポーツクラブ「ユースポ」が運営主体で進める諸課題を検討。現在、指導者の募集を開始する段階。

指導者は、ユースポと年度ごとに業務契約を締結。11月末まで募集し、12月に指導者を決定。その後は数回の研修会を経て、来年4月から地域移行予定。

湯沢町スポーツ栄誉表彰要綱

スポーツの普及と振興を図るため、スポーツ競技会において優秀な成績を収めた者およびスポーツの発展に寄与した者に対し、その栄誉を称え表彰することを目的とする。表彰の種類は、スポーツ特別表彰、スポーツ栄誉賞、スポー

ツ大賞の3種類。

- ・スポーツ特別表彰の表彰基準は、オリンピック・パラリンピック競技大会で3位内となった者
- ・スポーツ栄誉賞の表彰基準は、世界選手権大会、ワールドカップ大会において優勝した者。もしくは、オリンピック・パラリンピック競技大会において入賞した者
- ・スポーツ大賞の表彰基準は、オリンピック・パラリンピック競技大会に出場した者、世界選手権大会、ワールドカップ大会において入賞した者、国民体育大会・全日本選手権等の各都道府県の代表者が参加する全国的規模の大会において優勝した者

表彰方法は賞状と副賞とし、スポーツ特別栄誉表彰該当者で優勝者は50万円、準優勝者は35万円、3位は25万円、スポーツ栄誉賞は20万円、スポーツ大賞は10万円を授与する。

9月21日 第8回

総務部・産業観光部・子育て教育部

部活動の地域移行

検討委員会の意見、県内市町村の取り組み状況および国・県の動

議会活動日誌



6月23日 工事関係臨時監査（監査委員）
例月出納検査（監査委員）

27日 議会運営委員会

7月4日 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会評議員会（南魚沼市）

5日 湯沢町・南魚沼市・魚沼市議会議員協議会評議員会（南魚沼市）

6日 議会広報常任委員会

第4回臨時会

7日 一般国道湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会総会及び国道事業説明会

11日 企業会計決算審査（監査委員）

12日 議会広報委員会

13日 総務文教・生活福祉常任委員会合同行政視察（秋田県湯沢市・東成瀬村・藤里町）

19日 第6回議員全員協議会

19日 特別会計決算審査（監査委員）

21日 議会広報委員会

26日 「湯沢町・南魚沼市・魚沼市」議会議員協議会研修及び令和4年度定期総会（南魚沼市）

27日 例月出納検査（監査委員）

28日 新潟県町村議会議長会・町村議会議員前期研修会（新潟市）

29日 一般会計決算審査（監査委員）

一般国道17号「湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会要望会（国土交通省 北陸地方整備局・新潟及び長岡国道事務所）」

8月2日・3日 一般会計決算審査（監査委員）

4日 新潟県町村監査研修会及び令和4年度総会（新潟市）

向を踏まえ、ユースポや町の財政担当者との検討の結果、段階的に無理のないよう地域移行していく計画。

- ・地域移行初年度は、各種目月1回（年間12回）程度を実施
- ・指導者のスポーツ安全保険料は徴収しないで、町から補助する
- ・令和5年度の保護者負担はなし。ただし、スポーツ安全保険料800円は徴収する

- ・令和5年度月1回の「中学生休日スポーツ教室」では大会・練習試合等への参加はしない。大会や練習試合等は、学校部活動顧問が引率し、学校部活動として参加

- ・令和6年度以降は、段階的に回数を増やす。令和8年度には休日の地域移行を完全実施する

保護者に対しては、9月20日付でQ&A形式で周知する。指導者の募集は、9月25日発行予定の広報とともに募集チラシを公民館等にも設置。また指導者の確保は、地元スポーツ団体の協力だけでなく、部活動指導員を増員も検討。（現在1名）

児童クラブ・子育て支援センター建設工事の進捗と変更

変更点

- ・竣工予定日が、鉄骨の納入遅れにより1月末へ変更となる
- ・町道横断部は横断歩道でなく、色付きペイントを施工
- ・子育て事務室北側の窓を掃き出し窓に変更する

予算の増額見込み

工期内の主要材料である鋼材（鉄骨・鉄筋）の価格が契約時よりも上昇し、契約額の1%を超えた場合、その増額分を発注者が負担する単品スライドが適用可能性有。

また、東京オリンピックの選手村に提供した、湯沢産の杉材が選手村解体後に返送され、今回建設する児童クラブの部屋に腰壁として使用予定。

湯沢高原の決算

令和3年6月から令和4年5月の状況は、グリーシーズンが対前年度比107.1%、12月から3月までのウィンターシーズンが対前年度比140.6%、4月・5月の春シーズンは対前年度比289.9%、年間合計で対前年度比127.6%。

- ・入込客数 12万1,436人
- ・対前年増減 2万6,275人

- ・売上高 4億2,445万円

- ・対前年増減

1億2,951万5,000円

- ・売上総利益

3億2,002万6,000円

- ・対前年増減

9,147万2,000円

当期純利益がマイナス121万

6,000円となり、契約書に基づき3期連続で町への第三者地代および使用料の支払いはなし。

ランニングイベント支援制度の創設

ランニングイベント事業支援事業補助金（仮称）を創設し、公募型プロポーザルにより3事業者程度を選定して支援。

令和5年3月上旬に公募型プロポーザルを開始、3月下旬にプレゼンテーションを実施し、補助対象者を内定する。提案の条件は、1,000人以上が参加するランニングイベント、町のブランドに資する事業で、湯沢町観光まちづくり機構が企画・運営に携わる。

補助金額の算定は、参加者および家族等の延べ宿泊者数×2,500円程度とし、上限200万円を想定している。

9日 「湯沢町・南魚沼市・魚沼市」議会議員協議会要望会（中央省庁・国会議員・新潟県庁・自民党県議団・北陸地方整備局・JR東日本・長岡国道事務所・湯沢砂防事務所・南魚沼地域振興局）

10日 上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会 令和3年度定期総会（上越市）

12日 第7回議員全員協議会

総務文教常任委員会

19日 湯沢町地下水対策委員会

23日 生活福祉常任委員会

24日 新潟県後期高齢者医療広域連合8月議会定例会（新潟県自治会館）

25日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合決算・7月～8月監査（八色園）

29日 産業建設常任委員会

例月出納検査・健全化判断比率審査（監査委員）

9月2日 決算審査結果報告（監査委員→町長）

議会運営委員会

3日 議会広報常任委員会

上越線開通90周年記念式典（南魚沼市）

5日 議案勉強会

6日～21日 第5回定例会

11日 秋季消防演習

21日 第8回議員全員協議会

23日 湯沢学園体育祭

27日 例月出納検査（監査委員）

28日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合例月監査（八色園）

30日 第43回町村議会広域研修会（新潟県自治会館）

秋田県 管外視察研修報告 総務文教・生活福祉常任委員会

新型コロナウイルス禍、ようやく視察受け入れが叶い、総務文教・生活福祉の両常任委員会合同で、災害援助協定を結んでいる秋田県湯沢市の議会活性化への取り組み視察を皮切りに、学力日本一の東成瀬村、ひきこもり対策の先進地藤里町の3か所を2日間かけて視察してきました。

湯沢市議会行政視察

7月13日

秋田県湯沢市議会議長はじめ9名の出席者

議会活性化に向けた取り組み

①議会改革推進研究会

市民に身近で信頼される議会を目指す、政策立案・政策提言につながる取り組みの充実・強化を目的に、専門家を招致し議会改革推進研究会を開催。令和3年は5回開催。

②議会改革推進会議

議会改革および政策立案等協議の活性化を図るため、令和4年「湯沢市議会基本条例」および「湯沢市議会会議規則」を改正。新たな協議の

場として「議会改革推進会議」を設置。令和4年4月、全体会を開催。政策検討会会員議員を選任。初の政策検討会を開催。

③議会報告会（議員としゃべろうマチトーク）

市民参加の多様な意見交換の場を充実し、政策立案機関としての機能強化に繋げ、議会報告会に代わる取り組み。未来が活気にあふれ、幸せや豊かさを実感できる魅力ある地域へ、今やるべきこと、できることのアイデアをカフェのようなリラックスした雰囲気で行うワールド・カフェ形式会議。少人数のテーブルで一定時間ごとにメンバーの入れ替え対話を行い、楽しみながら繰り返し話が聞きやすく、意見も言いやすいため、お互いの理解を深め、気づきや自由な発想、アイデアを生み出せるとのこと。

④タブレット端末の導入（オンライン会議等）

感想

③は報告会というより大変工夫した意見交換会。政策立案機関として

の機能強化に繋げることを目的にしている活動は、市民との距離を短くし、信頼感の醸成、あるいは意見が政策に反映されなかったとしても合意形成にとっても役に立つ取り組みと思う。見習うべきことであり、我が町でもどのように取り組めるか考えたい。

「学力日本一の村」 東成瀬村視察

7月14日

東成瀬村村長、議会議長、東成瀬小学校校長、教育委員会教育次長、議会議務局長 出席



東成瀬小学校

学力向上の取り組み

①村教育行政説明

村には小・中学校ともに1校ずつ。

小学校78人、中学校51人（令和3年度）。これを活かした「小中連携教育」を村の方針として掲げている。ここは僻地ゆえに教育の機会が奪われてはいけなさと、村全体が長い間教育に力を入れてきた歴史がある。

②学校経営説明

教職員は小・中学校合わせて30人ほど。学習以外のスポーツ活動等、教職員がカバーできないところは地域の人の力を借りる。つまり、保護者以外の方にも学校の方針を説明し、協力してもらうことは必須。

授業参観には保護者のほか、地域の人にも顔を出してもらう。参加率120%。3世代同居が多いので、祖父母のための授業参観も行う。村内の行事も学校側から積極的に仕掛けて学校をオープンにしている。教職員は営業マンとして学校を説明する役割が必要とのこと。

村が一体となって子どもを育てている。子どもにとって村全体に愛されているという雰囲気大切。そうして初めて小規模校の特性を活かした「小中連携教育」が可能。指導内容・指導方法は9年間を通じて、全て一貫性を持った教育を行っている。

「小中一貫」などの箱物をつくり、子どもをその中に入ればいいのではない。頑張る子どもたちがいて、

熱意ある教職員がいて、学校を理解してくる保護者、行事に協力してくれる地域の人たち、そして条件整備をする行政の5つの要素がかみ合っこそ成り立つ。教育委員会はその要素をうまく回転させるためにある、という。

小学校授業および校舎見学感想

将来の夢や作文や発表したものなど、さまざまな成果を壁に貼りだしてあり、子どもたちの意欲や達成感・自己有用感・自己肯定感を刺激したり高めたりする工夫が随所に見られた。

総合的感想

教育は、成長させたい具体的成果を見込み、仕掛けを仕込んでいくことだと思う。目的・目標を明確にし、学校が労力を惜しまず創意工夫し、体系的にプログラムを作っている。そこに地域全体で協力し、行政も一体となって目的に向かって取り組んでいる。全国学力・学習状況調査の単なる点数取りの教育を行っているのではないことがよく解った。

また、教育は人づくりであり、地域づくり、ひいては国づくりの基。教育なくして誇りを持った歴史・文化を失わない町づくりなどできないと強く感じた。

「ひきこもり対策事業」 藤里町 視察

7月15日

藤里町社会福祉協議会会長
菊池まゆみ氏

藤里町社会福祉協議会の取り組み

① 藤里町の概況

- ・人口 3,228人
(1,359世帯)
- 65歳以上 1,513人
- 高齢化率 46.87%
- ・行政予算 約33億円

平成2年からの、一人の不幸も見逃さない運動・支援される不幸な人を見つけ出す運動から、誰もが「困った」と声を出せる地域づくり運動へ転換。平成17年から、支援する人、される人を隔てないトータルケア推進事業開始。

「藤里方式」Ⅱ支援が必要な人も支援する側になれる、役に立ちたいという思いに寄り添う支援は、所属する場所を持たない若者層が必要としていた。

② 藤里町のひきこもり等実態調査

ひきこもりはいないという高齢者、自分はひきこもりだったという若者、人口4,000人に満たない町で、113人の若者が家庭訪問を了承した事実

③ 「こみっと」支援事業

平成22年活躍支援事業（ひきこもり者および長期不就労者および在宅障がい者等支援）開始。（了解を得た生活困難者へ情報提供）

レクリエーション活動・パソコン操作訓練・お食事処「こみっと」や、白神まいたけキッシュで就労訓練・「こみっと」バンクとして地域活動（草取りなど）

④ 福祉の立場からの地方創生事業

- ・町民全てが生涯現役を目指す町づくりへ挑戦
- ・人づくり・弱者でも地方創生の担い手として活躍する
- ・仕事づくり・根っこビジネス・伝統の味の製品化
- ・若者支援・藤里体験プログラムを町外に解放する

平成27年から全世代対応の活躍支援事業「プラチナバンク事業」開始。町民の注目度・関心度の高い事業になり、プラチナバンクスタッフが大きな役割。300人の会員が活躍できるよう頑張る仕事・自分が稼いだ人にはできない仕事・山菜採り、そば打ち、うどんづくり、キッシュづくり等、さまざまな仕事の熟練者



感想

になること・次々と顔ぶれが変わるひきこもり者、知的障がい者等支援ではなく、活躍支援のための仕事・プラチナバンク会員のお手本が必要。

とにかく熱意と純粋さを感じた。「こうなったらしいな」「こうしてやりたいな」と思ったことをどうしたらできるか試行錯誤し、挑戦・行動して壁を乗り越え事業実現している。こういった純粋な情熱を持った人たち、それを理解・応援する人たちが行政にも純粋さを感じた。経済一辺倒ではなく、純粋な気持ちや行動に切り替えることが必要な時期にきたのではないかと思う。今回の視察では、秋田県の県民性なのか、3か所の視察全てに共通して感じたことである。

湯沢町議会議員による ホームページがあります



<https://yuzawamachi-gikai.com/>

- ・各議員による情報発信の活性化を図ります。
- ・各議員の情報を掲載し、各議員の情報媒体へリンクしてあります。
- ・町への要望・ご意見をうけたまわります。
- ・簡易 Web アンケートが実施できるよう検討中。



議員と「まちづくり」について意見交換しませんか

出張意見交換会

お申し込み・
お問い合わせ先

湯沢町議会事務局

〒949-6194 南魚沼郡湯沢町大字神立 300 番地
TEL.025-784-3115 FAX.025-784-3510
Eメール gikai@town.yuzawa.lg.jp

湯沢町議会は、議会運営および議員の活動に関する基本事項を定めた「湯沢町議会基本条例」を平成27年の4月に制定しました。

◆議会基本条例 5条-2より

「議員は地域、組織、団体等町民との意見交換の場へ積極的に参加し、また場を設けて広く意見を聴き、政策立案強化を図る責務を有する」

これに基づき、議会との意見交換会を希望するグループ・団体のみなさまのところへお伺いします。

対象

町内において活動するグループ・団体で、おおむね10名以上の会合等。

申込方法

申込書に必要事項を記入し、湯沢町議会事務局へご持参いただくか、FAXで送信またはご郵送ください。Eメールで必要事項を送信していただいても受け付けます。

申し込み受け付け後、担当の委員会で検討した上で、開催可否を決定し、ご連絡いたします。

※申込書は、議会事務局に置いてあります。



編集後記

10月に入り、冷え冷えした朝が続いています。今年の冬は早そうです。

冬季シーズンのインバウンドは、湯沢町観光にとって期待できるシーズンとなりそうです。それを見越しての秋季・冬季の観光事業総額1億円が可決され、新型コロナウイルスにおいて疲弊した湯沢町観光の回復するための万全の準備ができたことと思います。

湯沢町は税収が年々減少し、財政的には苦しくなっています。安定的に行政サービスを行うためには自主財源の確保が重要です。観光客増員は、観光立町湯沢町にとって大事なことです。

今季は良いシーズンとなるよう祈念しております。

編集委員 並木利彦

議会広報常任委員会

委員長 南雲好幸
副委員長 並木利彦
委員 高波大吾
渡辺千恵
和田一郎
高橋政喜